

ひらめき箱(意見・要望等)対応状況

番号	8	開封日	平成27年6月15日
ご 意 見			
<p>見学は無料です 5月30日にオープンしました。全国の「鉄道ファン」も、やってきました。場所を知らない方のために・・・人吉駅の以前の「バラ園」のところです。</p> <p>市議会は、歴史遺産の申請の予定があり、それに必要な施設の一環の事業と言って、決議しました。しかし市民の多くは何処に何の目的で作られたのか分からないのが、実情です。パブリック・コメント（住民意見）は、充分に行われたのでしょうか？今からでも、市民に分かるように説明を要望します。見たところ、全国の「鉄道ファン」のための施設ではなくて、子供の遊園地みたいでした。出来たものは仕方ないとして、①もっと市民に分かるように説明責任があると思いますし、②入場料無料で、これからの経費をどう捻出するのかどうかも合わせて、ご説明下さい関する要望書。</p> <p>多くの市民は、それを、待っています。</p> <p style="text-align: right;">（投函日 平成27年6月6日）</p>			
回 答			
<p>はじめに、鉄道ミュージアムの建設は、第5次人吉市総合計画の中で、「肥薩線は、比類なき価値を持つ鉄道遺産」と位置づけ、より多くの市民に対して、教育・啓発等を図っていきながら、歴史遺産の保護に協力する機運を醸成することによって、地域資源を未来へ継承していくものとしておりまして、鉄道ミュージアムはその情報発信の中核となるものであり、この目標を達成するための1つの手段と考えています。また鉄道遺産を継承していくためには子どもたちを取り込むことが重要と考え、子どもたちも自然と鉄道に触れ合う空間の整備に努めました。これらを総合的に勘案し、稼働している肥薩線や石造りの機関庫の目の前という現在の位置に建設しております。</p> <p>文化振興の拠点、観光振興の拠点、地域の民間団体との連携を図る拠点という施設の3つのコンセプトのほか当市の目的等を示し、デザインのみならずトータルコーディネートを水戸岡鋭治氏にお願いいたしましたので、ご質問のパブリックコメントについては実施しておりません。</p> <p>ミュージアムの運営につきましては、これまでの市議会一般質問の中でも当面の間、市の直営として運営するとお答えしてまいりました。管理経費につきましては平成26年度の国の補正予算 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）を活用するものでございまして、ミュージアムのコンセプトの一つでもある観光振興の拠点として、また新たな施設の</p>			

開館により業務の一部を委託することで「新たな施設における、雇用の創出」という点で国のメニュー例の「観光振興・対内直接投資」に該当したものでございます。国はこの事業を5年程度継続していくとの方針から、今後5年間は対象となると見込んでいるところでございまして、ミュージアムの開館に伴う新たな雇用や事業の増加分として平成27年度における業務委託の予算ベースで算出した額が約1200万円でございます。このほか行政財産の目的外使用料が収入として考えられるところです。

しかしながら、市のコンセプトに沿った運営が軌道に乗った時点で指定管理制度の活用も念頭に検討を進める必要があると認識しておりまして、子どもたちや将来に負担を残さないようにさまざまな角度から多様な利用方法を検討し、広く市民の皆様にご利用いただける施設にしなければならないと考えているところでございます。

また肥薩線を始めとした鉄道施設を地域の宝として捉え、子どもたちもとりこみ、未来を担う子どもたちを介して次の世代へ継承していくためには多くの市民の方に気軽に何度でも足を運んでもらい、自然に鉄道と触れ合う場を提供することが最優先であると考えておりますので、現時点で入場料は、無料としているところでございますが、いずれにしましても、常に状況等を判断しながら、「最小の経費で最大の効果」を念頭に検討を重ねてまいりたいと思います。